

伊豆大島でのベニバトの東京都初記録

願法真理美・渡部良樹

伊豆大島でベニバト *Streptopelia tranquebarica* が観察・撮影されたので報告します。この個体は体が褐色で頭部の色は体より淡く、後頸に黒い横線状の模様があること、キジバトよりもかなり小さかったという観察結果からベニバトと判断できます。また、体の赤色みや頭部の灰色みが少ないことからメスであると判断できます。シラコバトも後頸に横線があり似ていますが、この個体よりも色が淡いことや尾が長いこと、嘴がやや長いことなどから識別できます。2012年に発行された日本鳥類目録改訂第7版によると、本種は関東地方では埼玉県や神奈川県で記録されていますが、東京都では本土部・島嶼部ともに記録されておらず、東京都初記録と考えられます。観察者による記録は以下のとおりです。

観察者：願法真理美（がんばろう まりみ）

観察日：2012年11月12日15時25分ころに発見。個体数：1羽 《ベニバトの写真は裏表紙》

確認場所：東京都大島町元町字地の岡91-1

環境：畑と林の間の砂利道で人家のすぐ前。周辺は林、畑、林に囲まれた畑、人家などで、近くに開けた草原と標高約100mの小さな単独峰がある。

観察状況：車の進行方向にいて、少し驚いた様子でしたがあまりこちらを気にすることなく、採餌していました。ひと目見てハトだということはわかりましたがキジバトよりはかなり小さく、「なにか違う！」と思いました。鳴き声は発していませんでした。この個体については、グローバルネイチャークラブの以下のブログにも投稿しています。

<http://blog.goo.ne.jp/gscrikuguide6/e/c565c91d14d9fff503296de3140bc496>

末尾ながら渡部にこの記録を教えてくださいました天野洋祐氏に感謝します。

ウソ・キクイタダキ・ヒガラ・マヒワ ……今年の冬鳥の情報・写真をお寄せください

例年になく、ウソやキクイタダキなど“山の鳥”が豊作で、身近で観察できました。この冬、どんな鳥がどこにいたのかをご報告ください。地図・写真・スケッチなども添えていただければ参考になります。カモ類のカウント結果もお持ちしています。

【報告要領】 ①いつ ②どこで ③なにを ④何羽 ⑤だれが（氏名・連絡先）そして、できるかぎり結構ですので、その際の状況も書き添えてください。

【報告先】 日本野鳥の会東京・研究部あてに、メール・Fax・手紙をお願いします。

【発表】 本年6月号本欄予定

今年のツバメ調査・JR中央線の駅・周辺部での営巣

ことは、日本野鳥の会本部が全国規模で行っている「消えゆくツバメを守ろう」キャンペーンに呼応して、5～7月にかけて、JR中央線都内の32駅（東京駅～高尾駅）ごとのツバメの営巣状況を調べます。詳細は次号で発表しますが、それぞれの駅の近くに住んでいる・毎日利用しているなど、駅およびその周辺で調査協力ができる方は、研究部宛てご連絡ください。調査自体は難しい内容ではありません。

